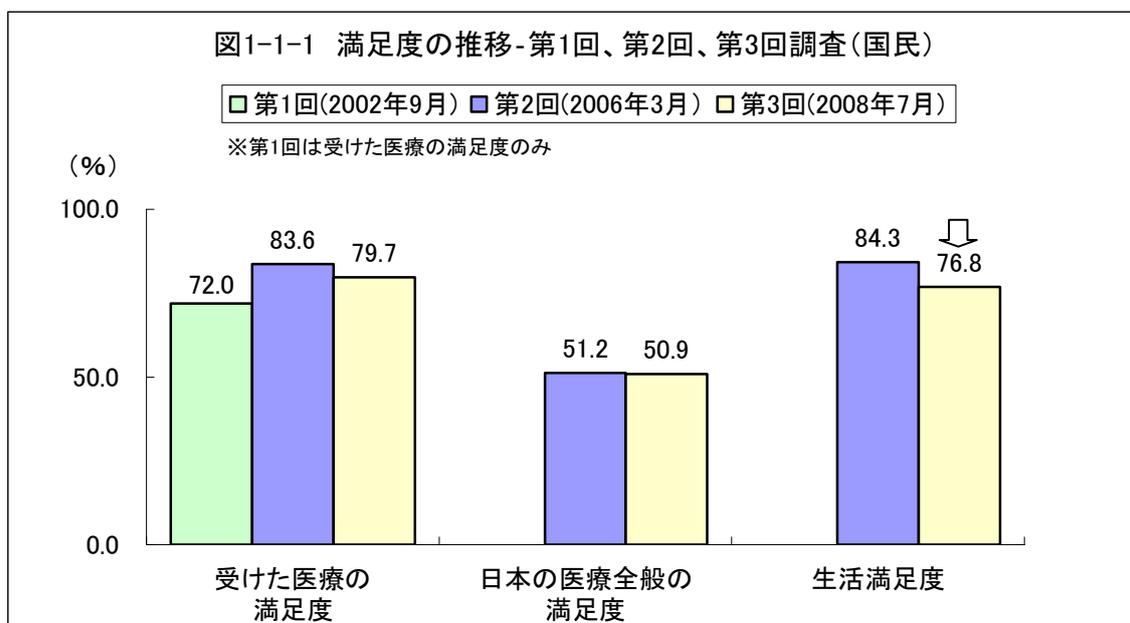


満足度を相対的にみるために生活満足度も尋ねたところ、「満足」との回答は、前回から約 8 ポイント低下して 76.8%であった（図 1-1-1）。生活満足度が低下している中で、医療全般、受けた医療への満足度はほぼ維持されている。



「受けた医療」に満足していない（満足していない+あまり満足していない）と回答した人は全体の 16.7%であり、その理由の上位 3 項目は、待ち時間、治療費、医師の説明であった（図 1-1-2）。

一方、「日本の医療全般」に不満（不満である+やや不満である）と回答した人は全体の 41.3%で、その理由の上位 3 項目は、国民の医療費負担、医師不足や連携などの医師の体制、効率性・利便性（待ち時間など）であった（図 1-1-3）。4 番目は国全体の医療費抑制政策への不満であり、国民の間でも、国の医療費抑制政策に対する意識が高まっていることが示された。